

首里城火災に係る募金および寄付金について

<報告書>

標記の件、下記のとおりご報告いたします。

令和元年10月31日未明に発生した火災により、沖縄県民にとって象徴的な建造物である首里城の正殿をはじめ7棟が焼失しました。琉球の歴史を物語るシンボルを失ったこの火災に対し、今年度「美ら島からの染と織」展の開催にあたり、沖縄より多大なご尽力をいただいた当館として、修復再建に向けた支援をするため、募金箱の設置を行いました。その結果、多くの来館者の方々より総額145,290円の募金が寄せられました。ここに当館からの寄付金を加え、那覇市を通じて、再建に取り組む関係機関へ寄付させていただきました。

1 目 的

首里城火災に対する復興再建支援

2 支援方法

(1) 募金

令和元（2019）年11月1日～令和2（2020）年1月31日の間、松濤美術館受付前に募金箱を設置し、来館者の方々に募金をお寄せいただいた。

(2) 寄付金

令和元（2019）年8月10日～9月23日の間開催した「美ら島からの染と織」展の図録販売に係る利益の一部を寄付。

3 金 額

(1) 募金	145,290 円
(2) 寄附金	270,000 円
計	<u>415,290 円</u>